

令和３年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定実績一覧

資料 4

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

1. 先進的ごみ減量等モデル事業				(円)	(円)	(円)	
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	確定額
1	フードバンク木津川	特定非営利活動法人 手をつないで ----- 理事長 破石 俊夫	フードバンク事業の理念を一般家庭周知すると共に、その事が食品廃棄ロスの削減にも繋がっていることを知っていただく。また、食品メーカーにも同様の理解をいただく。今年度は、2,000点の食品寄贈を目標とする。	市内4スーパーと社会福祉協議会3支所で、通年フードドライブを実施。木津川市及び笠置町より賞味期限が近い備蓄食品の受け入れ。毎月月末に、希望のあった11施設に食品を提供。社会福祉協議会が主催した年末緊急支援活動に備蓄米・精米180kgを提供。スーパー店頭での定期的なチラシの配布。南加茂台・木津川台の全戸にチラシのポスティングを実施。	297,550	297,550 ----- 必要額	297,550
2	食とモノのRe-bornプロジェクト	kichi_lab_art ----- 代表 加藤 史江	(A)「もってけドロボー蚤の市」（目標：利用者2,120人 106日開催×20人） 古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげる。 (B)エシカルカフェ「わんこいん食堂」（目標：利用者80人 2日開催×40人） 木津川市産の規格外野菜を使ったタご飯をわんこいん（大人500円、子ども100円）で提供。また、賞味期限間近の食材を寄付してもらい「フードドライブ」で提供された食材を活用し提供することによりフードロスを減少する。食堂で排出した生ごみをたい肥化し、キチキチ農園での野菜の育成に活用し食堂の食材として活かす。	(A)「もってけドロボー蚤の市」（利用者1,590人 106日開催） 古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげ、ゴミの削減を図ることができた。また、リサイクル品の古い毛糸を子どもの絵画造形教室でオーナメント作品として活かすことができた。 (B)エシカルカフェ「わんこいん食堂」（利用者40人 2日開催） 木津川市産の規格外野菜を使った食堂は低価格で提供することで、子育て世代を中心に多くの利用者に好評を得ることができた。フードロスを推進するだけでなく、利用者に地産地消を呼びかけることにもつながった。また、食堂で出た生ごみは、竹チップを使用して堆肥を作り、キチキチ農園の野菜を育てて、食堂の食材として活かすことができた。	300,000	300,000 ----- 上限額	300,000
3	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会 ----- 代表 佐々木 重規	地域内の家庭から排出される生ごみをEMコンポストで処理して回収し、処理場で攪拌・熟成させたい肥にする。できたい肥は家庭菜園で利用する。	生ごみを焼却せず堆肥化することにより、可燃ごみの減量と二酸化炭素の抑制、資源の再資源化を図ることができた。また、今年度導入した攪拌機を利用した作業の機械化により、攪拌作業の高度化と効率化を図ることができた。	300,000	300,000 ----- 上限額	234,800
4	SDGs ボードゲームで学ぶ使い捨てない暮らし方へ	木津川市こどもエコクラブサポーターの会 ----- 代表 立花 志保	SDGsボードゲーム体験会・学校でのボードゲーム体験出前講座、映画「マイクロプラスチック・ストーリーぼくらが作る2050年」のオンライン上映会、木津川の生き物及びプラごみ調査等を通じて、市民の皆さんに持続可能な資源利用について意識や行動を変えてもらおうきっかけとしたい。（目標：参加者400名）	SDGsについて、説明を聞くだけでなくゲームを通じて自分が行うべき行動を考えてもらうことができた（小中学校で出前事業を9回実施し、参加者は315名）。また、映画「マイクロプラスチック・ストーリー」の視聴を通じて、プラスチック製品との付き合い方を見直すことや、具体的な行動を宣言してくれる方が多くおられた（8月上映：123名、3月上映：274名）。	281,217	281,217 ----- 必要額	278,707
5	竹チップコンポストで地域資源	山城ごはん ----- 代表	竹を粉碎した「竹チップ」を基材にしたコンポストを制作。家庭から排出される生ごみを、竹チップコンポストを活用しごみの減量化を目指す。市内在住の100世帯に「竹チップコンポスト」を配布し、半年後にコンポストを利用した世帯で購入している可燃ごみ有料袋のサイズをワンランク下げられることを目標とする。	竹チップコンポストの資材作製メンバー、コンポストを上手く堆肥化させるノウハウを教えていただくメンバーに協力者となっただき、約50世帯を配布。竹チップコンポスト作製ワークショップ8回実施（70組参加）。	300,000	300,000 ----- 上限額	282,270
小計					1,478,767	1,478,767	1,393,327

2. 地域内ごみ減量等推進事業

						(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	交付決定額	
	申請無し							
小計					0	0	0	

3. 地域型ふれあい収集事業

						(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績	補助申請額	交付決定額	
	申請無し						
小計					0	0	

(円)	
補助申請額合計	1,478,767
交付決定額合計	1,478,767
実績報告確定額合計	1,393,327